

## 学校長あいさつ

沖縄県立美咲特別支援学校は、昭和 47 年 1 月に琉球政府立中部養護学校として設立認可され、3 月には琉球政府立美咲養護学校と校名を変更し、5 月 10 日に開校式を迎えました。当時は、小学部児童 22 名、中学部 14 名、職員 15 名でスタートした小さな学校でした。また、開校の 5 日後に、沖縄県が祖国復帰を果たし「沖縄県立美咲養護学校」に校名を変更しています。その後昭和 51 年には高等部設置が認可され、平成 13 年には幼稚部が設置されました。今では県内の特別支援学校で 1 番大きな学校となり、4 年前には 70 名余の児童生徒が分離し「なはさき分校」を開校しました。

本校は開校から今年度で 45 年目を迎えます。現在では 7 市町村から、352 名の幼児児童生徒が通学してきます。そして、過密化が未だ続く大規模校です。

さて、本校は校歌の一節にもある『きれいに咲こうよ、咲かそうよ』を教育活動のキャッチフレーズにし、創立当初からの歴代校長をはじめ、本校にかかわってくださった沢山の方々の思いを受け継ぎ、今も子供たち一人一人の個性を大切にしています。どの子もその子らしい花が咲くよう、子供の主体性を大事にし、周囲でかかわる教師や保護者・関係者が心ひとつにしてその花を咲かせようと指導・支援しています。また、毎月の授業参観日には、多くの保護者の皆さまが学校を訪れ、子供たちを励ましてくれる元気な学校です。このように子供たちをみんなで見守り育てようと続けてきた様々な PTA 活動が認められ、お陰さまで、昨年度文部科学大臣より PTA 優良校として表彰されました。これは大変喜ばしく名誉なことと、これまでの関係者の御尽力に対し深く感謝しています。今年度からは、沖縄県知的障害教育校の PTA 連合会事務局校として、PTA 会長始め、一丸となって、みんなで頑張っています。

また本校は「自立し、社会参加・貢献する子の育成」のために、R-PDCA サイクルに基づき、日々の教育実践を取り組んでいます。その中で特に心がけているのは、子供にとっての『分かる授業の展開』です。そして目標と評価の一致化を図り、学校と家庭と地域のそれぞれの役割分担を互いに認め、さらなる連携を深めていけるよう努めております。

今年度は小中学部において、沖縄県教育委員会指定研究校グループ研究を、高等部では、校内支援システム開発モデル事業の取組を 幼稚部では昨年度に引き続き、地域におけるセンター校的役割を担い「にこにこタイム」の名称で早期教育の一環として、月に 1 回知的障害教育における親子支援教室を開催しています。

本ホームページをご覧なされた皆さまにおかれましては、本校の教育活動をご理解いただき、今後とも本校の教育に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 4 月 校長 座間味 恵利子